2016 年 11 月

NPO法人　学習塾全国連合協議会　東日本ブロック　NPO 塾全協

塾全協東通信

題字：伶齋（白川亮　進ゼミ柏）

NPO 塾全協　埼玉地区主催

第29回 私立中学・高校 進学相談会 レポート

日時：2016 年 10 月 2 日(日)　14:30～17:45

場所：川越プリンスホテル 3f ダイアモンド・エスメラルド

参加校：39 校（54 ブース）

来場者数：460 名

文と写真：中村基和

開会セレモニー

↑

埼玉県私立中学高等学校 協会副会長

東野高等学校校長 中川 進　先生の挨拶

開始直後の様子

ブースの様子

↑「埼玉名物」の最後尾のプラカード。来場者数は去年より増えているのに、今年は例年ほど活躍していませんでした。どうしてかというと今年から「特別講演会」（一斉説明会）の会場を２つ設けたため、相談者が分散したからです。（写真をご覧ください）行列が出来ることは、その学校にとっては名誉なことですが、並んで待つ側にとっては苦痛です。これはグッドアイデアです。どの学校の説明会もよく入っていました。

抽選コーナー

「まぁ、こういうこともあるわな」と今年も
ノリノリの中山先生のお嬢さん。

一等が出た～～～！！！

懇親会

埼玉の進学相談会は人気校と不人気校の差が大きいと感じていましたが、今年は「特別講演会」のせいか、その差をあまり感じませんでした。しかし、やはり東京の学校は苦戦しているところが多かったように見えました。

学校説明会レポート 2016　その 10

文化学園大学杉並中学・高等学校（東京都杉並区　女子校）

日時：2016 年 9 月 26 日（月）10:30～11:45

場所：文化学園大学杉並中学・高等学校（東京都杉並区阿佐谷南 3 丁目）

文と写真：中村基和

取材協力：文化学園大学杉並中学・高等学校 入試広報部長 小島浩司先生

JR 中央線の阿佐ヶ谷駅–荻窪駅の間、電車の窓から南見ると文化学園大学杉並中学・高等学校（通称文杉）の看板が見えます。私は阿佐ヶ谷駅を降りてほぼ線路沿いに荻窪方面へ進みましたが、途中道が入り組んでいて完全に線路沿いには歩けません。いつもの方向音痴が炸裂か？道を尋ねようかと思って居たら校門が見えて来ました。この学校は 1926 年に城右高等女学校として設立され、1974 年に文化女子大学の付属校として文化女子大学附属杉並中学・高等学校に改称されました。系列校にはコシノジュンコさんが卒業した文化服装学院があります。かつての城右高校はハッキリ言って低レベルの学校でしたが、大学附属となってから 1970 年代の大学付属校ブームのためか大幅に合格レベルを上げました。2011 年、大学の名称が変わるのに伴って今の校名となりました。

10：30 に校長の松谷茂先生の挨拶で始まった説明会ですが、そのとき既に満員になっていました。建学の精神は「感動の教育」。スクールモットーは“燃えよ！価値あるものに”で、「わかる授業」を常に念頭においてカリキュラムや教材の工夫をしています。

中学校は「グローバルコース」と「シグネットコース」にわかれ、グローバルコースはネイティブ教師によるオールイングリッシュの授業が週 9 時間あります。

「給食が美味しい学校」をキャッチフレーズにしていて、中学校は全員給食です。学食には「自分で作る」ソフトクリームの販売機があり、マスコミの取材があったそうです。（写真右/写真は学校の HP より）

高校は、ダブルディプロマコース、国際コース、難進コース、総合コースの 4 つに分かれていますが、何と言っても注目すべきはダブルディプロマコースです。日本とカナダの 2 つの高校の卒業資格が同時に取得出来るのです！

ダブルディプロマコースについて、入試広報部長 小島浩司先生が次のような説明文を送ってくださいました。

日本とカナダ、両方の高校卒業資格を取得

ダブルディプロマコースは 、全く新しいグローバルプログラムです。日本のカリキュラムと同時進行で、ブリティッシュコロンビア州が認定した海外のネイティブ教師による授業が行われます。卒業時には、日本と海外の両方の高校卒業資格を取得できるのが『ダブルディプロマコース』です。
これにより、同コース卒業生は、日本はもちろんカナダ・アメリカ・イギリス・オーストラリア・ニュージーランドなど英語圏の全大学にダイレクトに出願できます。

東京・杉並の“海外校”で学ぶ

高校 1 年生の夏にカナダで行う 5 週間の短期留学の他は、3 年間の本校での勉強で「英語力アップ」はもちろんのこと、『カナダのディプロマ(高校卒業資格)』が手元に残る充実のプログラムです。
大切な日本の中等教育を欠かすことなく、なおかつ 3 年間じっくりと“英語で学ぶ”機会があります。
ダブルディプロマを手にした後は、日本も含めた世界中の大学があなたを待っ ています。これからは、世界地図を広げて大学選びをしてください。

圧倒的な英語活用力を育てます

現在、1 期生が高校 2 年生に進級。入学以来磨いてきた英語活用力は大きな伸びを見せています。英語の全国偏差値がクラス平均 70.5(月)、GTEC スコアのクラス平均が 655.6(6 月)、ブリティッシュコロンビア州統一テストではカナダ本国のトップ地区を上回る 81.5 ポイントと圧倒的な力を発揮しました。

このあと、小島先生から 2017 年度入試についての説明がありました。中学入試は 2/1、2/2、2/4 の 3 回で、第 1 回と 2 回は 60%で合格です。85%以上だと A 特待、75%以上だと B 特待、65%以上だと C 特待になります。又適性検査型入試もあります。（文杉は適性検査型入試をいち早く導入した学校の一つです）また、第

3 回は、兎に角合格したいという生徒向けで、一般のタイプも適性検査型入試も basic な形で出題され、難問奇問はないそうです。

高校入試に関しては、偏差値的なことは言えませんが、相互コースならオール 3 で大丈夫です。特進やダブルディプロマコースはオール 4 以上でグンと上がります。一般入試は 2/10、2/13 に特進チャレンジ入試があります。

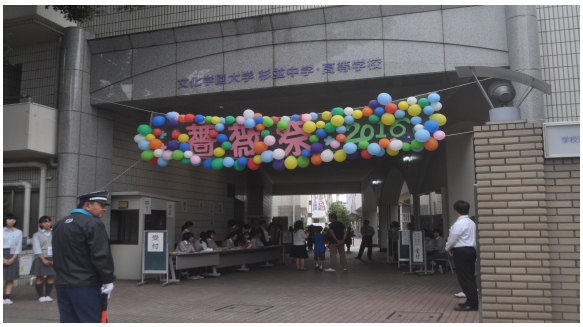
中学入試、高校入試とも今度から全て「**インターネット出願**」になります。

最後にダブルディプロマコースのカナダ側からの校長（ＢＳＣＩＳ校長）Dab Miles 先生からの説明と、2 人の高校生徒の対話の実演がありました。2 人とも中々良く話せていました。事前打ち合わせはなかったそうです。

文杉の高校入試の偏差値はコースによって大きく違いますが、従来 50 代です。高校入試の偏差値が 50 代だと中学入試は 40 前後になってしまいます。四谷大塚では判定不能の底辺校になってしまう可能性があります。しかも女子校。普通なら中学生の募集には大苦戦するのですが、今年の中 1 は 84 名、3 クラスあります。（以前は 4 クラスありました）高校は 8、9 クラスで全額で 1000 名くらいの生徒数があります。非常に立派なことだと思います。保護者用の説明会では「ここが一番良かった」とよく聞きます。そして塾対象説明会、何と立ち見席が出来ていました。アクセスが良い、受けやすい、入学した生徒達が楽しそうにしている（規則はきちんと守っているみたいですが)、そして目玉のダブルディプロマコース。塾業界の注目が集まるのも当然です。校長先生の挨拶で、塾の先生から「文杉は変わったのか？」「今までの良いところはなくなったのか？」と良く訊かれるが（私も心配している一人なのですが)、「大学入試に力を入れるようになったが、良いところは残す」とのことなので、それを信用したいと思います。

最後にファッション系の大学、専門学校の系列の学校ですので、そちらの方に進みたい生徒には一押しできます。文化学園大学はファッション系大学の世界ランキング 2 位です。またソフトテニスが日本一になるくらい強く、他のスポーツも伝統的に盛んです。

NPO 塾全協東日本ブロック第 37 回進学相談会でのブースの様子と、文化祭（薔薇祭）のファッションショーの様子



ファッションショーは薔薇祭の目玉。和洋折衷あり、ファンタジーあり、宇宙ものあり、そしてホラーありと多彩で、本当に高校生なのか？と疑いたくなるほどのレベルでした。

NPO 塾全協東日本ブロック　今後の主な予定（2016 年度）

11 月 3 日（祝）　全国研修大会
1 月 27 日（金）　教材教具展

編集　NPO 塾全協東日本ブロック　事務局長　中山和行
〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿 229（中山塾内）
tel　049-296-1111　fax　049-296-1111　Email
gyqbt650@ybb.ne.jp